

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより

No.55

平成30年
11月発行

9月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
上野原高校JRC

特集	2
議長就任あいさつ	4
第1回臨時会	4
定例会で決まった主なこと	6
決算特別委員会	8
一般質問	11
高校生の傍聴	15
予算特別委員会	17
行政視察受入	18
議決結果等一覧表	19
市民の声	20



うえのはらで頑張る人 vol.8 上野原高校JRC



JRCは、Junior Red Cross 青少年赤十字のことです。上野原高校の生徒の皆さんが放課後様々なボランティア活動に取り組んでいます。夏休みの終わりに、炊き出し訓練の活動をしている皆さんを取材してきました。炊き出し訓練には、家庭クラブも協力していました。

笑顔を見た時、やりがいを感じる
ボランティアで役に立ちたい

上高JRCの活動と目的は

■ ベースは防災です。自分で見て、感じて、行動することを基本にしています。現在14名で活動しています。

■ シンポジウムに参加したり、話したり、介護の補助などをしています。

■ 学園祭、赤い羽根募金、商店街の催事への参加などの活動をしています。

■ 甲府市の愛宕山少年自然の家で開かれた、青少年赤十字リーダー養成センターに参加し、ボランティアについて学んできました。

入部したきっかけは

■ 進路に役立つと思ったから。

■ 中学生の時、ボランティアの方と話すことがあり、興味を持ちました。

■ 自分でも何かできるかと思ったからです。

■ 小学校の時に、ボランティアの方の講演を聞いて、私にもできると思い、JRCに迷わず入りました。



活動を通じて感じたことは

■ 人の役に立ちたいと思いました。
■ 小学校の時に老人ホームを訪問して、高校に入ったとき、クラブとしてボランティアをしたいと思いました。

■ ボランティアに参加すると、自分のできることは多くないし、小さなことしかできないと思いました。だから、これから頑張ろうと思えました。

■ でも、小さなことにも「ありがとう」と言ってもらったときは、うれしかったです。

■ ボランティアの本当のあり方や



■ 青少年赤十字について知ることができました。

■ 「ありがとう」と言ってもらったこと。笑顔を見た時、やりがいを感じました。

卒業後の進路については

■ 卒業したら、現在の活動とは関係のない大に行く予定ですが、ボランティアは継続してやっていきたいと考えています。

■ 看護系に進学したいと思っています。

顧問の先生からも一言

■ JRCの活動は強制ではありません。だからこそ、意欲的に参加しているのだと思っています。

■ 救急救命の講習会を消防署でやっていただけるなら、ぜひやってみたいですね。

■ 市社会福祉協議会などから情報が入ってくれば、もっとボランティア活動に協力できると思います。



市議会や市に要望はありますか。

■ 駅前に本屋を誘致してほしい。
■ 図書館の閉館時間をもっと延ばしてほしい。

■ バス等の公共交通機関の上高へのアクセスの利便性を図ってほしい。

■ 気軽に立ち寄れる駅前にコンビニやファミレスがあるといいと思います。

取材を終えて

JRCの活動やそれに伴うボランティア活動について、率直な話が聞けました。全員が女性であり、明るく楽しそうに活動しているのわかりました。将来の進路、そして議会や行政への要望等も聞き、参考となりました。



議長就任あいさつ



田中英明 議長

議長就任に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。この度議長選挙に当たり、議員各位の温かいご推挙をいただき、荣誉ある議長の要職に就かせていただくことになりました。身に余る光栄であり、その責任の重さに身の引き締まる思いを致しているところであります。今年、総合福祉センターや上野原駅南口周辺整備などの大型事業が完成し、市民サービスの向上と雇用創出そして活性化と、その表情が大きく変わろうとしています。そのような中、市議会といたしましてもさらなる住民福祉の向上をめざして取り組むとともに、議長として公平で公正な議会運営に努めて参る所存であります。市民の皆様並びに、議員各位には、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のあいさつとさせていただきます。

第1回臨時会

平成30年8月9日、上野原市議会第1回臨時会を開催しました。

提出された議案は、左記の契約締結1件でした。年度内の完成のために契約を早期に結ぶ必要があり、臨時会の開催となりました。

▽荻野用水路橋架設災害復旧工事請負契約締結

契約先（構成員）

- 株式会社 天野工業
（大月市笹子町）
- 株式会社 田村組
（上野原市上野原）
- 特定建設工事共同企業体

金額 2億7324万円

新たに決まった 委員・議員

議会運営委員会

委員長

副委員長

委員

山口好昭

尾形重寅

杉本友栄

鷹取偉一

尾形幸召

岡部幸喜

山梨県東部広域連合議会

議員

山口好昭

総務産業常任委員会
所管事務調査

談合坂スマートインターチェンジ



閉会中の継続調査として、（仮称）談合坂スマートインターチェンジの現況について、7月9日に大目出張所にて担当者から今後の予定や課題の説明を受け、その後現地に向かい視察調査を行いました。課題である用地取得について、訴訟等の手段も視野に入れながら、スマートインターチェンジの供用開始にこれ以上の遅れが発生しないよう、鋭意努力することを強く要望しました。

文教厚生常任委員会
先進地を視察

市川三郷町・富士河口湖町

閉会中の継続調査として、7月4日「障害者支援施設の取り組みと運営状況について」視察を行いました。市川三郷町にある特定非営利活動法人希会「きりあ」では、障害者就労支援について、富士河口湖町にある障害者支援施設「はまなし寮」では、短期入所と日中一時支援について伺い、市民に対しての情報発信や介護士の人材不足解消の為に、制度の改善等を当局に要望しました。



議会運営委員会
先進地を視察

愛知県犬山市議会



「議会運営について」調査するため、6月28日に愛知県犬山市議会を訪問し、視察調査を行いました。犬山市議会では、市民に身近で開かれた議会を目指し、市民フリースピーチ制度を中心に議員間討論や市民との意見交換など様々な取り組みを行っていました。その実施状況や課題等の話を聞き、引き続き調査を継続していくこととしました。

9月定例会 定例会で決まった 主なこと

平成30年9月3日(月)から9月26日(水)までの
24日間の会期で開催されました。

審議された議案

	市長提出議案	25件
請願	2件	
発議	2件	
計	29件	

※議案名・議決結果等は19ページをご覧ください。

議案第76号 上野原市空き家等の推進に関する条例制定

条例制定

空き家等の推進を図るため条例制定

(平成30年10月1日施行)

市内における空き家・特定空き家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、空き家等対策に関する特別措置法に定めるほか、空き家等対策の推進に関し必要な事項を定めます。



議案第77号 上野原市農産物加工施設条例制定

条例制定

上野原市農産物加工施設条例制定

中山間地域農業の振興と農村経済の向上に寄与するため、市農産物加工施設の運営に関し、管理運営方法の詳細と必要な事項(休業日、使用の許可、使用の制限、使用料等)を新たに定める必要があるため、条例を全部改正する必要があります。



議案第78号 上野原市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例制定

条例改正

上野原市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例制定

西原小学校の児童数激減により、次世代を担う子どもの環境を整備する事に主眼を置き、西原小学校の適正規模・適正配置を慎重に検討してきました。その結果、平成31年4月上野原小と統合を行うことに決まりました。統合に伴い西原小学校を廃止するため、条例を改正する必要があるためです。





補正 予算

子どものインフルエンザ 予防接種費用の一部を助成

対象者 予防接種の接種日において本市に住所を有し、1才～18才となる日の年度末まで

接種期間 10月1日～翌年1月31日まで

助成金 2千円を上限とし、接種医療機関の予防接種単価の2分の1

助成回数 1年度につき、1名1回

議案第79号 一般会計補正予算（第3号）



補正 予算

ブロック塀等の撤去改修に 補助金が出ます

ブロック塀・石塀・レンガ塀の倒壊・転倒による事故を防止するために、撤去又は改修に補助金が支給されます。

撤去・改修費の最大3分の2が補助されますが、詳しくは都市計画課に設置される相談窓口で相談ください。

限度額 撤去15万円 改修30万円

予算額 300万円

期間 33年3月末まで

議案第79号 一般会計補正予算（第3号）

発議

発議第2号

教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書

請願が採択され、市議会として国に要望するために意見書を上げることとなりました。

発議

発議第1号

太陽光発電設備の立地規制等に係る法整備等を求める意見書

景観・環境・防災上の観点から、太陽光発電設備の立地規制が必要と思われるので、国に意見書を上げることとなりました。

請願

請願第3号

上野原市議会議員の定数の削減に関する請願

頭書の請願については、議員定数は減らすべきだという意見もありましたが、市民の声を反映するためには、一定の議員数が必要との意見が多数であり、不採択となりました。

請願

請願第2号

教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

頭書の請願については、義務教育の振興のためには、教職員定数の改善、国庫負担制度の拡充が必要と考え、全会一致で採択されました。

29年度 決算

わたしたちの納めた税金の 使いみちを審査しました。

平成29年度決算は、議長と監査委員を除く議員全員による決算特別委員会を設置し、9月18日、19日、20日の延べ3日間にわたり審査を行いました。

ここでは、委員会で行われた主な質疑を、要約して掲載します。



遠藤美智子 副委員長



川島秀夫 委員長

一般会計・特別会計歳出総額 前年度比で 7.2%増

199億2775万3779円

市議会では、今回の第3回定例会において決算特別委員会を設置し、昨年4月から今年3月までの1年間に使われたお金について、無駄なく効率的に使われているか、その成果はどうであったか等について審査を行いました。

その結果、議案第95号「平成29年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について」は、異議が有り、起立採決した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

また議案第96号「平成29年度上野原市病院事業会計決算認定について」は全会一致で認定すべきものと決定し、議案第97号「平成29年度上野原市病院事業の資本金の額の減少について」も全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

平成29年度の決算規模

一般会計

127億9975万4653円
(前年度比 12億1660万4千円増)

特別会計(16会計)

71億2799万9126円
(前年度比 1億1646万7千円増)

決算特別委員会

委員長 川島 秀夫

副委員長 遠藤美智子

委員 白鳥 純雄 川田 好博 久嶋 成美 東山 洋昭 小俣 修 杉本 公文
山口 好昭 長田喜巳夫 尾形 幸召 鷹取 偉一 岡部 幸喜 尾形 重寅

決算特別委員会の

主な

質

疑

答

弁



ストレスチェックの結果は

- Q** 職員のストレスチェックを行っているが、その結果は。休職者はどのくらいか。
- A** 28年度は、352/361の受検で、高ストレス48人、面談実施4人。措置が必要とだった人は、0人でした。29年度は、351/357の受検で、高ストレス16人。面談・措置とも0人でした。休職者はいません。

生活困窮者自立支援事業

- Q** 自立支援相談業務に300万円の委託料を計上しているが、29年度の相談者数24人の中に、ひきこもりの当事者や家族の相談者はいるのか。当市のひきこもりの実態は把握しているのか。
- A** 相談者24人の中に80代の相談者がいますが、実態の把握はしていません。
- 意見** ひきこもりの実態を把握するべき。



野焼きの禁止について

- Q** 法律上、野焼きは原則禁止であるが市の現在の対応は。
- A** 原則禁止ですが、どんど焼きまた農林業で出た、あぜ道の草・剪定枝等は例外規定で許容されています。しかし近所に対しての煙・臭害防止上、苦情があった場合には、直ちに中止の指導をしています。

市立病院について

- Q** 医師と看護師数が減少、それに伴う入院、外来者数も落ち込んでいるが。
- A** 医師や看護師の確保は本当に難しく、市長も山梨大学へ出向き、招聘依頼しています。現在も地域医療振興協会(指定管理者)に要請を行っていますが、大変厳しい状況です。

英検以外の検定に対する補助は

- Q** 小中学生の英検の受検者に補助金が出ているが、漢検等他の検定にも補助金を出すことは検討していないか。
- A** 英語力の向上のために、英検受検者に補助金を出しています。児童・生徒には、得意・不得意があり、漢検・数検なども教育総合会議の中で議論されており、検討していきましようということになっています。

決算特別委員会の

主な

質

疑

答

弁

テニスコートの改修は

- Q** テニスコート改修について、市民からの
請願を議会で採択したにもかかわらず、
実行されないのは何故か。
- A** 利用者も増えており、施設改修の必要
性は承知しています。来年度事業着手
に向けて、予算計上できるようにしてい
きます。

避難支援管理システム業務委託料

- Q** 災害時の要支援者の支援体制はどのよ
うになっているのか。
- A** 要支援者名簿は手上げ方式で28年度に
作成し、毎年10月頃に名簿を更新。現
在、要介護3以上、障害者1・2級等755
人が名簿登載に同意し、名簿は民生委
員・区長等に渡し、災害時には避難誘
導などをしていただきます。



消防団員の確保

- Q** 団員確保の取り組みはされているか。
- A** 団員数は定数972人に対し実員891人、
分団によっては合併を行っている、全分
団の現況を幹部会議で調整依頼中、10
月の幹部会議までに内容を精査して報
告し、今後を見据えていきます。

地域コミュニティ助成事業

- Q** 宝くじの社会貢献広報事業のコミュニ
ティ助成事業は、防災・減災対策・伝統芸
能など地域社会の健全な発展と住民福
祉の向上に寄与する事業。もっと積極的
に市民に広報すべき。
- A** 今後は、多くの市民に知っていただき活
用できるよう、広報紙やHP等により理
解しやすく発信していきます。

人件費と物件費の違い

- Q** 人件費と物件費の違いは。
- A** 人件費は正規職員、再任用職員の給与共
済費、各種手当、議員報酬等で、物件費
は臨時職員、嘱託職員の賃金や社会保険
料、役務費、委託費、備品購入費、旅費
等消費的性質のものです。

障害者雇用問題について

質問

障害者雇用状況について。

答弁

法律による障害者雇用制度について、地方公共団体の法定雇用率が、30年4月から0・2%上がり2・5%になりました。市役所の雇用率は、労働局への直近の報告である30年6月現在2・79%となっており、法定雇用率を満たしています。障害には身体・知的・精神の三種あり、取得された手帳を確認した上で報告しています。

質問

障害者数は何人か。

答弁

9月1日現在の障害者手帳発行者数は、身体障害者867人、療育185人、精神障害者186人です。

質問

障害者の雇用状況は把握しているか。

答弁

民間の雇用状況の把握は出来ないが、手帳発行時に就労に向けた事業所の情報を提供しています。

答弁

公的機関として積極的に進



川島 秀夫

める必要があるので、職員採用試験に障害者特別選考枠を設け対応しています。市役所の雇用ではありませんが、庁舎の敷地や公園の清掃などについて、障害者支援施設に依頼するという就労支援に取り組んでいます。今後も障害者の雇用促進、就労支援に繋がるよう、幅広く検討していきます。

他に、空き家対策の推進、四方津駅バリアフリー、コマアの問題、異常気象と危機管理について質問しました。



上野原市内の
高校教育の将来性について

質問

市内全校の20年度、30年度の小学校入学児童数は。

答弁

小学校入学児童数は20年度181人、30年度115人です。

質問

市内全校の10年後、15年後、20年後の小学校入学児童の予測数は。

答弁

市の人口推移、将来推計の予測となりますが、新入学児童数は10年後97人、15年後78人、20年後63人です。

質問

上野原の企業事業者が求めている人材づくりの工業高等専門学校誘致は。

答弁

市単独での設置は難しい。県の見解では古くなりますが21年1月30日に県の産業労働部産業人材育成課から工業高等専門学校の設置についての見解が示されています。「県産業界からは高等専門学校を県内に設置して欲しい」との声があり、検討した経過があります。国による設置は難しく、



尾形 幸召

意見

上野原高校の将来を検証した場合、定員未達の可能性は重大です。県において当然、予測されることは統合、廃校の措置が検討されると考えられます。そこで、市から県立高校を消滅させない信念から上野原高校の工業高校への改変を政策提言し発信すべきと考えます。

地方創生総合戦略について



長田喜巳夫

質問 新規産業創出の農林再生プロジェクトの現在の状況は。

答弁 木製弁当箱については、30年2月に北都留森林組合と3社で経木折箱研究所を設立しています。市としても森林資源が有効活用できるよう協力していきます。

質問 サテライトオフィスについては、先の議会でも取り上げたが現在の状況は。

答弁 事業者から聞き取り調査などを行ってきたが、今後とも県の補助金などもありますので、県と連携を取り民間事業者と連携する中で取り組んでいきます。

質問 1T企業が参入して来る環境整備はできているか。

答弁 市内全域に光ケーブルが引

かれているので、環境は整っていると認識しています。

意見 廃校舎等あるので積極的に取り組んでいくべきです。

質問 市のPR事業の現在の状況は。

答弁 動画は観光2本、移住促進4本を作製し、市のホームページ及び全国移住ナビで見られます。27年度からのフィルムコミッション事業は、映画、CMなど29本の撮影が行われています。

質問 上野原駅周辺整備事業の商業施設等、誘致の状況は。

答弁 「くろがねや」によると、飲食店等複数の企業と交渉しているが、現在契約には至っていないとのことです。

質問 市街地活性化、人口減少対策の取り組みは。

答弁 誘客促進にむけてイベントの開催、交流人口の増加をはかり観光振興や、人・物・金が循環する地域経済を構築していきます。市民が主体的に取り組み、市にある物を磨き魅力あるまちづくりを進めます。取り組みの一つにインバウンドモニターツアーを計画中で、事業の発案、自主的・自走的な活動を創出していく事業を進めたいと考えています。

質問 中学校3校へのエアコン設置と、子育て教育環境充実への取り組みは。

答弁 9月には利用できるよう準備を進めています。上野原中学校は竣工後35年経過し、老朽化が生じているため大規模改修、長寿命改修計画で進めていて、緊急性の高

い箇所から改修作業を進める計画です。

質問 災害時の避難道路を含めた道路整備の取り組みは。

答弁 国・県に対し、アクセス道路整備や、狭隘区間の解消等に向けて、早期の対応を要望しています。市道については、路線数が多く危険度の高い場所から道路整備を行っています。狭隘箇所もあり、方向転換できない状況の道路もあります。地元の方々のご理解をいただければ優先的に整備を進めたいと考えています。

他に、市防災訓練の成果について、伝統文化の継承について質問しました。

魅力あるまちづくりについて



白鳥純雄



情報通信基盤整備事業について



杉本公文

質問

UBCが、市に納付すべき光ファイバの芯線貸付料未納額が過去4年間で、約7179万円、及び延滞金未納額が約159万円あるが、今回のIRU契約見直しで督促滞納処分条項を除外したのは、一般市民に対し不公平ではないのか。

答弁

前回契約の督促の部分については、税とか条例で定める公法上の債権の取扱規定でしたが、この契約は私法上の債権となることから、今回、見直しをしました。

質問

するという観点から相殺は見送りしました。

答弁

市は、経営基盤を安定させるとする合意により、UBCに年間3千万円の援助をしているが、UBCは、市への未納金7千万円を払わず長期借入金元利約5千万円を銀行に支払っている。この様なUBCの経営方針を、どう考えるか。

UBCの債務が減れば、それはそれで良いことかと思えます。未納についても継続して請求していきます。

質問

UBCが、芯線貸付料を市に4年間も支払わない一方で、市はUBCに光ファイバ保守管理料として年間約2千万円を支払っているが、なぜ相殺して支払いに当てないのか。

答弁

UBCと相殺についても協議してきましたが、合意がされていません。今回は、前回までの契約内容を踏襲



他に、障害者の雇用について、上野原こども園の構内道路路について質問しました。

国民健康保険の構造的問題



川田好博

質問

保険料の負担率を比較してみると、国保は9・9%、協会けんぽは7・5%だ。所得が低いのに、保険料率は高い、ここに問題がある（協会けんぽ・中小企業の労働者とその家族が加入する健康保険）。

答弁

国民健康保険の加入者は、年齢構成が高く、医療費水準も高い一方で、所得水準が低く、保険料の負担が重く、構造的な問題がある中で、財政運営の主体が都道府県となりました。安定的な運営ができるよう国や県に要望を行っていきます。

答弁

国民健康保険の都道府県化の問題で、政府と地方団体が協議するなかで、全国知事会などは、「国保の構造問題」の解決策として協会けんぽ並みに保険税を引き下げるため1兆円の公費負担の増額、子育て世帯の国保税を高騰させる要因である均等割の見直しなどを国に要求した。これらの地方団体の要求についてどう考えるか。

質問

さらにこの間の国保加入者の構成が変わってきた。1965年度では、農林水産業が42・1%、自営業が25・4%だった。しかし、2016年度には、無職が43・9%、被用者が34・0%と国保加入者の高齢化と貧困化が進んだ。

国民健康保険の財政基盤の強化のためには、このような財政の強化が必要であり、市長会等を通じて要求していきたいと思えます。



災害の備えについて



遠藤美智子

質問

地区防災計画の見直しに、防災の担い手である防災指導員・防災士・消防OBの方々にも加わっていただき計画するべきと考えるが。

答弁

今まで培った知識と経験を活かしていただき活動を活発にさせていただきます。

意見

活動内容を明確にすべき。

質問

自主防災会長をメインとして、今後、徐々に裾野を広げていければと考えます。

防災会の活発な活動をするうえで補助金制度を求める声が上がっているが。

質問

地区防災計画を見直し後、今後の防災対策・活動にどう生かすのか。危機管理監の立場として、今後の課題をどう考えるか。

答弁

活動経費については、制度化が必要と感じています。検討させていただきます。

答弁

地区によっては、まだまだ行政に依存する声があります。大災害時には行政の機能がままならないことを理解してもらい、意識を見直してもらうために広報等で災害時の初動等の紹介・ハザードマップの活用を訴えていきます。

他に、医療費等の抑制・削減につながる取り組みについて、高齢者運転免許証自主返納支援事業について質問しました。

質問

防災指導員から「防災指導員として何をすれば良いかわからない」との声を聞く。具体的な活動内容は。



日本遺産認定にむけて



東山洋昭

質問

日本遺産とは、またその効果は。

答弁

日本遺産とは、点として指定・保存する従来の文化財行政のあり方から点在する遺産を面として活用・発信するもので、地域の伝統を語るストーリーを文化庁が認定する制度です。効果は当該地域の認知度の高まりと、地域のブランド化等にも貢献し、地方創生に役立つものと考えます。

質問

今回「大月・上野原桃太郎伝説」で認定申請する予定と聞く、今後の予定は。

答弁

大月市との連携は勿論、関係団体や市民の方々の機運の醸成というものが欠かせないと考えています。また地域づくり、魅力づくり、観光客の誘客ということも大きな目的になってきますので、鄙（ひな）の会さんや市観光協会等関係団体の方々に相談していきます。

質問

認定実現への決意は。世代を超えて受け継がれている桃太郎伝説。それを題材としたストーリーのもと、有形・無形、また指定・無指定の文化財を周辺環境と一体的に活用。情報発信や人材育成、また環境整備などの取り組みを進めていくことは、文化財保護、また次世代に継承していく上で、非常に大切です。東京オリンピック・パラリンピックの開催も見据えた中で、魅力の発信につながるものと考えます。今後認定申請に向けて大月市とも一層協議を進めていきます。



防災・減災について

質問

防災・減災についてですが、今年の総合防災訓練は秋山地区をメイン会場として行われました。秋山中学校体育館で避難所設置や運営の仕方などの訓練が行われましたが、参加している方々にわかりやすいように、全体の流れをマイクでライブ発信する必要があったのではないかと。

意見

横のつながりで、移住定住担当者や転入担当者のところに置けばいいのではないのでしょうか。すべての方が自分の置かれている立場、座っている場所、そこに使命感と責任感を持って対応していただきたいと強く望みます。

答弁

ご指摘の点につきましては参加者が訓練で取得した知識や経験を、それぞれの地域に還元できるように、きめ細かい対応を今後心がけていきたいと考えています。

質問

ハザードマップについてですが、移住定住者また、市内に転居してきた方々も含めた対応はどうなっているか。

答弁

5年も経っているのですが、新しい情報を入れながら、新たに作り直して全戸に配布する時期が来ていると思っ



久嶋成美



他に、障害者を取り巻く環境整備について、UBCについて質問しました。

◆市内学生の決算特別委員会傍聴◆

9月20日、県立上野原高校の3年生22名の生徒の皆さんが決算特別委員会を傍聴しました。私たちの生活に身近なことが議論されていることに親近感を覚えた様子で、質疑や答弁のやりとりを真剣に聞き入っていました。



上野原高校3年 落合綾さん

今回、初めて上野原市議会を傍聴して、どのようにして、議会が開かれているのかがよく分かりました。間近で見学することで議会の様子を知ることができ、普段、私たちが日常生活で使っている公共施設のお金

がどのように使用されているのかが分かりました。また、議会と聞いて難しい感じがしましたが、実際に聞いてみるとおもしろいと感じました。18歳になり、選挙権をこれから持つので、今回とても良い体験ができたと思います。

総務産業常任委員会

総務産業常任委員会に付託された案件は「農産物加工施設条例制定」「字の区域変更」の2件です。

農産物加工施設条例は、3月に制定された条例に施設を使用するにあたって必要となる事項、指定管理者、使用料等を定めるものです。

指定管理者については、指定管理料は支払われないかわりに、電気料は他の利用者から徴収した電気料も含め指定管理者が電力会社に支払うとする答弁がありました。

また、なぜキヌアしか加工を認めないのかと

いう質問に対して、33年まではキヌア特産化のための当面の措置であり、アレルギー対策のため他の雑穀と一緒に機械で処理しないためです、という説明がされました。

字の区域の変更は、上野原駅南口の開発によって土地の区画が変更されたため新しい字界を定めるものです。「駅南」という新しい字ができました。

付託された2案件はいずれも全会一致で可決すべきものと決まりました。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会に付託された案件は「空家等対策の推進に関する条例」「市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例」「教職員定数改善、少人数学級推進及び義務教育費国庫負担制度拡充を図る請願」の3件です。

空家対策条例は、特に倒壊の恐れのある危険な空家を指定し、市長が所有者等に対し助言・指導、勧告、命令、行政代執行などが行えるようにしたものです。市内の空家総数は669件、そのうち利用可能436件、修繕すれば利用可能161件、大幅な修繕が必要53件、危険な状態49

件という調査結果が報告されました。全会一致で可決すべきものと決まりました。

小・中学校設置条例の改正は、来年4月から上野原小に統合される西原小を廃止する内容です。休校にすべきという意見もありましたが、起立多数で可決すべきものと決まりました。

請願は、どこに住んでも一定水準の教育を受けられるように、国に教育予算の拡充を求める内容です。全会一致で採択すべきものと決まりました。

議会運営委員会

議会運営委員会に付託された案件は「市議会議員の定数の削減に関する請願」の1件です。

委員会では、紹介議員から説明を受けました。

委員からは、議会活性化検討特別委員会の中で、区長会との意見交換での意見等を踏まえて

検討を重ねた経過から、現状の16人とすることで決していることから、請願を採択すべきではないという意見が多く出され、全会一致で不採択とすべきものと決まりました。

予算特別委員会報告

去る9月3日の本会議において、付託された案件について、9月5日、委員会を開催しました。

今回の委員会は、議会活性化の一環として、より充実した質疑を行うため、今まで各常任委員会へ付託していた補正予算の案件について、本委員会にて議員全員で審議を行い、慎重に審査した経過と結果を報告します。付託された案件は、30年度一般会計予算及び各特別会計予算の合わせて16件です。審査は、関係課に説明を求め、その後、質疑・採決を行いました。

30年度一般会計補正予算第3号についての主な歳入として、地方交付税交付額や国庫補助金等の確定に伴い2億3606万3千円、地方特例交付金82万8千円です。一方、歳出は新規事業として、1歳から18歳までのインフルエンザ予防接種費用の一部を助成に伴う委託料266万2千円及びブロック塀等撤去及び改修に伴う補助金として300万円を

増額するものです。また、ゴミ焼却

施設の修繕費として2816万3千円やオリジン東秀（株）が第2工場を建設に伴う企業立地促進事業助成金2112万2千円です。これにより雇用が58名創出されたとのことですが、次に、特別会計の主な補正内容について審議し、当局提出16案件については、採決の結果、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

なお、閉会中には、市民のためにより良い予算審議となる様、所管事項調査として、予算の状況を詳細に把握する必要があるため、本委員会を開催する事も決定しました。



高額医療費制度の見直し

Q 高額医療費制度の見直しは。

A 一般の限度額が1万4千円だったものが、1万8千円なるなど、厳しくなりました。

産後ケア事業

Q 産後ケア事業の応募状況は。

A 29年度は、延べ2人分ありました。30年度は、現在1人の使用があります。

Q どのような形で知らせているのか。

A 母子手帳を渡すとき、新生児訪問をするときなど声をかけています。

桐の木職員駐車場

Q 桐の木駐車場の返却に当たり、農地に原状回復とはどのようなことをするのか。

A 水田に戻すような工事です。

Q 桐の木職員駐車場を返すことになっているが、新たに借りることはないか。

A 他に借りるようなことはありません。

文化財保護審議会

Q 文化財保護審議会の開催状況は。

A 昨年度までは、年3回程度でした。甲府から文化財の専門家を招きますので、年5回を予定しています。

長崎県松浦市議会

「総合福祉センターふじみについて」



6月27日、長崎県松浦市議会文教厚生委員会の議員6名が来庁し、「総合福祉センターふじみについて」視察・調査されました。

当日の説明には、ふじみの会議室を利用し、福祉課福祉施設担当より、建設までの経緯や建設事業費、施設利用状況、今後の課題についての説明を受けた後、施設内の視察も行われました。松浦市では、総合福祉センターの建設予定があるということで、とても熱心な意見交換が行われていました。

愛知県岡崎市議会

「広報誌・自治体情報発信戦略について」



7月24日、愛知県岡崎市議会（自民清風会）の議員4名が来庁し、「広報誌・自治体情報発信戦略について」視察・調査されました。

企画課担当職員より、「広報誌で街の意識を変える」と題し親しまれる広報づくりや広報誌を活用した情報発信などについてと、組み写真部門日本一受賞の広報誌における作成意図・過程についての熱い説明を受けた後、活発な意見交換が行われました。

香川県丸亀市議会

議会だよりの編集について

8月2日、香川県丸亀市議会広報公聴委員会が、「議会だよりの編集について」視察に訪れました。丸亀市は、香川県の中央、瀬戸内海に面した人口11万人の市です。うちわが特産物です。委員7名と議会事務局の職員1名が訪れ、「特集記事の題材の決



め方、取材方法」「発行までの作業スケジュール」「議員と議会事務局の役割分担」「今後取り入れたい記事や特集」などを聞かれました。議会だよりの編集常任委員6名全員と議会事務局で対応し、パワーポイントを使って、特集「うえのはらで頑張る人」シリーズの取り組みや紙面の改善について説明をしました。説明終了後、活発な意見交換が行われました。

平成30年第1回臨時会議決結果等一覧表

議案番号	案件名	付託委員会	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	久嶋成美	東山洋昭	小俣修	川島秀夫	杉本公文	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果	
75	502/212 荻野用水路水路橋架設災害復旧工事請負契約締結について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

平成30年第3回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案

(討論は、委員長報告に対する賛成・反対です。) (◎賛成討論者 ●反対討論者 ○賛成 ●反対)

議案番号	案件名	付託委員会	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	久嶋成美	東山洋昭	小俣修	川島秀夫	杉本公文	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果	
78	市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生	○	○	◎	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
95	平成29年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	○	○	◎	○	○	○	○	●	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
請願3	議会議員の定数の削減に関する請願	議会運営	○	●	◎	○	●	●	●	○		●	●	●	●	●	●	●	●	不採択

◆全会一致の議案

番号	付託	案件名	結果	番号	付託	案件名	結果
76	文教厚生	空家等対策の推進に関する条例制定について	原案可決	90	予算特別	平成30年度上野原財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決
77		農産物加工施設条例制定について		91		平成30年度檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)	
79	平成30年度一般会計補正予算(第3号)	92		平成30年度小金沢土室山恩賜林有財産保護組合西原分収益事業特別会計補正予算(第1号)			
80	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	93		平成30年度秋山財産区特別会計補正予算(第1号)			
81	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	94		平成30年度西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)			
82	予算特別	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第1号)		96	決算特別	平成29年度病院事業会計決算認定について	認定
83		平成30年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)		97		平成29年度病院事業の資本金の額の減少について	原案可決
84		平成30年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		98	総務産業	字の区域の変更について	原案可決
85		平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)		99	-	平成29年度継続費精算報告書の報告について	受理
86		平成30年度大目財産区特別会計補正予算(第1号)		100	-	平成29年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	受理
87		平成30年度甲東財産区特別会計補正予算(第1号)		請願2	文教厚生	教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	採択
88		平成30年度巖財産区特別会計補正予算(第1号)		発議1	-	太陽光発電設備の立地規制等に係る法整備等を求める意見書(案)の提出について	原案可決
89	平成30年度島田財産区特別会計補正予算(第1号)	発議2		-	教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書(案)の提出について		

※ 正式な議案名から(上野原市)を省略しているものもあります。

市民の声



商工会女性部
佐藤ひで子

繁栄を願う

遙か遠く、なつかしく思い出される町、お正月が近付くと必ず、買い出しに行く所、カゴを背負い、2時間、桜井峠を越え、田野入、鶴島へそしてひと休みする神社から見えた上野原町あの時のうれしさ、感激は忘れません。そして今は商工会々員、市民の一人となりました。歴代部長さん達の足跡を見習い、会員さん達の御協力を頂き、行事ある度に担当事務局さんと取り組んでいる今日、今年も恒例である。11月3日の商工祭では、昨年好評だった、フラワーアレンジメント、そして新しく取り入れたバザーで楽しんで頂けるよう準備中です。また視察研修として全国物産展見学を予定、親睦を兼ねてのバスの旅、楽しみのひとつです。無理なく焦らず、時代の流れに沿って行く、しかし女性部員としての自覚と誇りは忘れず、楽しい女性部にできればと、微力ながら日々努力しております。さて生まれ変わる上野原、人口減少に歯止めをかけ動き出している。駅南口周辺の開発事業が完成、これからの上野原市が楽しみです。更に盛り上がりを記念しこの度、縁あり、CDを作りました。「牛倉神社のお祭りソング」です。9月の例大祭にて、歌ってみました、聞いて頂けたでしょうか。これからずっと受け継がれる歌、気軽に誰もが口ずさめるソングに、そして少しでも上野原市繁栄に、お役に立てれば、幸せに思う市民の一人です。

12月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
11/25	26	27	28	29	30	12/1
		本会議 (初日)	議案調査	予算特別委員会 総務産業・文教厚生 常任委員会	議案調査	
2	3	4	5	6	7	8
	議案調査	議案調査	議案調査	一般質問	一般質問	
9	10	11	12	13	14	15
	一般質問 (予備日)	議案調査	本会議 (最終日)			

一般質問傍聴 託児サービスを ご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局（62-3344）へお申し込みください。

※通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

編集後記

議会活性化の一環として、2年ほど前より議会だよりのリニューアルに取り組んでいます。まだまだ試行錯誤、道半ばです。

しかし、議会だよりに対して以前と比べ、本当に読みやすく、わかりやすくなったとの声を、市民の方の多くから聞くようになりました。議会とは何か？その存在意義等についての疑問をしっかりと市民の方に伝えていく使命が、議会と私たち議会だより編集委員に課せられています。今後も市民の皆様の負託に応えるべく、議会の様々な活動等について、しっかりと広報して行きますので、今後とも宜しく願いいたします。

(東山)

議会だより編集常任委員会
委員長 東山 洋昭
副委員長 川田 好博
委員 白鳥 純雄
委員 遠藤美智子
委員 久嶋 成美
委員 川島 秀夫

